

【 大学院聴講生 】

※2024年1月29日現在(未更新のシラバスは掲載していません)

担当専修別	講義コード	講義科目名	単位	開講期	曜日	時間1	曜日2	時間2	担当教員名	使用言語	聴講可否 大学院聴講生	シラバス連番	備考
インド古典学・仏教学・西南アジア史学	9616001	サンスクリット(2時間コース)(語学)	4	通年	月	4			山口 周子	日本語	○	共通1	
インド古典学・西南アジア史学	9633001	ヒンディー語(初級)(語学)	4	通年	金	4			虫賀 幹華	日本語	○	共通2	
スラブ語学スラブ文学・言語学	9678001	ブルガリア語(初級I)(語学)	2	前期	水	4			ブラジミロフ イヴォ	日本語	○	共通3	
スラブ語学スラブ文学・言語学	9679001	ブルガリア語(初級II)(語学)	2	後期	水	4			ブラジミロフ イヴォ	日本語	○	共通4	
スラブ語学スラブ文学・言語学	9680001	古教会スラヴ語(初級)(語学)	2	前期	水	5			ブラジミロフ イヴォ	日本語	○	共通5	
スラブ語学スラブ文学・言語学	9681001	古教会スラヴ語(中級)(語学)	2	後期	水	5			ブラジミロフ イヴォ	日本語	○	共通6	
キリスト教学・西南アジア史学	9639001	ヘブライ語(初級)(語学)	2	前期	金	3			武藤 慎一	日本語	○	共通7	
キリスト教学・西南アジア史学	9640001	ヘブライ語(中級)(語学)	2	後期	金	3			武藤 慎一	日本語	○	共通8	
西南アジア史学・言語学	9620001	シュメール語(初級)(語学)	4	通年	金	1			森 若葉	日本語	○	共通9	
西南アジア史学・言語学	9682001	アラブ語(初級)I(語学)	2	前期	月	2			仲尾 周一郎	日本語	○	共通10	
西南アジア史学・言語学	9683001	アラブ語(初級)II(語学)	2	後期	月	2			仲尾 周一郎	日本語	○	共通11	
学部共通	8041001	英語論文作成法(演習)	2	前期	火	4			大崎 紀子	日本語	○	共通12	学部科目
学部共通	8041002	英語論文作成法(演習)	2	後期	火	4			大崎 紀子	日本語	○	共通13	学部科目

共通1

科目ナンバリング	G-LET49 89616 LJ48				
授業科目名 <英訳>	サンスクリット(2時間コース)(語学) Sanskrit(2H)	担当者所属・ 職名・氏名	非常勤講師 山口 周子		
配当学年	1回生以上	単位数	4	開講年度・開講期	2024・通年
曜時限	月4	授業形態	語学(対面授業科目)	使用言語	日本語
題目	サンスクリット初級文法(2時間コース)				
[授業の概要・目的]					
<p>サンスクリット語は南アジア(インド)において、古くは紀元前1200年頃より、多くの文献資料を残してきた言語である。サンスクリット語の習得は、インドの宗教(仏教、ジャイナ教、ヒンドゥー教等)や哲学文献、文学の研究へと道を開く。また、サンスクリット語は、インド・ヨーロッパ語族に属し、その古さと文法・音韻の保守性から、インド・ヨーロッパ祖語の解明・理解に欠かせない重要言語であるため、言語学、西洋古典の学生、研究者にも有益である。</p>					
[到達目標]					
<p>このコースでは古典サンスクリット語の初級文法を習得し、基本的な文法事項と語彙を身につけることによって、平易なサンスクリット文章を読解する運用力を養成することをめざす。</p>					
[授業計画と内容]					
<p>以下の文法事項の解説と、各項目に関する練習問題による読解演習とを平行して行います。</p> <p>前期 サンスクリット語概論、音論・連声(第1-3回) 名詞・形容詞曲用(母音語幹:第4-8回、子音語幹:第9-13回) 代名詞、数詞、複合語(第14-15回)</p> <p>後期 動詞現在活用(第1種活用:第16-18、第2種活用:第19-22回) 未来、完了、受動、使役、アオリスト、準動詞(第23-29回) 年度末テスト(テスト期間) フィードバック期間: フィードバック(第30回)</p> <p>授業の進行は受講生の理解度に応じて変更する場合があります。</p>					
----- サンスクリット(2時間コース)(語学)(2)へ続く -----					

サンスクリット(2時間コース)(語学)(2)

[履修要件]

予備知識は特に必要としません。幅広い専攻からの受講を歓迎します。

[成績評価の方法・観点]

- ・ 平常点(練習問題への理解度(授業期間中に「確認テスト」を実施)、40点)
- ・ 年度末筆記試験(60点)

[教科書]

吹田隆道(編著)『実習サンスクリット文法:萩原雲来『実習梵語学』新訂版』(春秋社,2015)
ISBN:978-4393101728

[参考書等]

(参考書)

辻直四郎『サンスクリット文法』(岩波書店,1974) ISBN:978-4000202220

[授業外学修(予習・復習)等]

予習:各回の進捗状況に合わせて、原則として次の2つのいずれかを授業中に指示します。

- ・ 宿題として出された練習問題の解答(訳)を準備してくる。
- ・ 次回の学習テーマとなる文法事項について、テキストの解説に目を通しておく。

復習:授業内容を見直すこと(特に、練習問題で正解できなかった点を中心に見直す)。

授業の進捗状況や受講生の理解度によって、変更する場合があります。基本的には、毎回の授業で指示します。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

共通2

科目ナンバリング		G-LET49 89633 LJ48			
授業科目名 <英訳>	ヒンディー語（初級）(語学) Hindi	担当者所属・ 職名・氏名	白眉センター 特定助教 虫賀 幹華		
配当学年	1回生以上	単位数	4	開講年度・開講期	2024・通年
曜時限	金4	授業形態	語学（対面授業科目）	使用言語	日本語
題目	ヒンディー語（初級）				
【授業の概要・目的】					
<p>インドは多言語国家であり、それぞれの州で公用語が定められている。その中でヒンディー語は、憲法第343条でインド全体の唯一の公用語とされている。中国語、英語に次いで世界で3番目に多く話されている言語であり、第一言語でなくともヒンディー語を解する人や、文法や基本語彙が同じ、パキスタンの国語であるウルドゥー語話者までを含めると、ヒンディー語でコミュニケーションを取れる相手は膨大な数になる。本授業では、今後世界の中でますます存在感を増すインドの公用語であるヒンディー語の初等文法を学び、簡単な文章の講読や会話の練習をする。</p> <p>講師は北インドでの5年間の留学経験がある。ヒンディー語の独特の言い回しや語彙、ヒンディー語ならではの思考方法、文章の組み立て方があると実感した。日本語で考えてそれを「翻訳」するのは全くしっくりこない。インドでは英語が通じると言われるが、英語を媒介にして行われるコミュニケーションはヒンディーで行われるそれとは別物である。インド人と深い意思疎通をしたいのならば、ヒンディー語を知ることが近道だろう。そして嬉しいことに、ヒンディー語を学べば「インド英語」も断然聞き取りやすくなる。インドや南アジアについて知りたい・関わりたい人はもちろん、将来国際的に活躍したい人にぜひ受講してもらいたい。今後、世界中のどこにいてもインド人と出会うだろうから。</p>					
【到達目標】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. ヒンディー語の初等文法を習得する。 2. ヒンディー語の文章を、辞書を引きながら自力で読めるようになる。 3. 簡単なヒンディー語会話ができるようになる。 4. ヒンディー語を通してインドの文化に触れ、世界認識の幅を広げる。 					
【授業計画と内容】					
<p>全20課から成る教科書を、原則として1課ずつ進めていく。各課は、新出単語、文法事項、文章から成り、それぞれを丁寧に解説する。他の参考書を使って補足説明をすることもある。毎回宿題を課し、次回授業で答え合わせをする。</p> <p>教科書が一通り終われば、新聞や物語などヒンディー語の文章を読んだり、ヒンディー語会話に挑戦してもらおう。教材は、履修者の希望に応じて決める。例えば、ハリウッド映画に関心があれば映画の挿入歌を翻訳したり、インド料理に関心があればレシピを読解する。インドの社会問題に興味を持っているのならば関連の新聞記事を読む。インド旅行を計画している人がいればテーマを設定して会話の練習をする。</p>					
前期					
<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション、文字 2~3. 文字と発音 4~14. 文法の解説と文章の講読を教科書に沿って進める 15. 中間試験とフィードバック 					
----- ヒンディー語（初級）(語学)(2)へ続く -----					

ヒンディー語（初級）(語学)(2)

後期

1~10. 文法の解説と文章の講読を教科書に沿って進める

11~14. ヒンディー語文章講読や会話の練習

15. 期末試験とフィードバック

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

平常点（40％）と2回の筆記試験（30％ずつ）で評価する。授業への積極的な参加を期待する。

【教科書】

田中敏雄・町田和彦 『エクスプレス ヒンディー語』（白水社、1986年）ISBN:4-560-00768-3（絶版のため入手困難。授業で配布する。）

【参考書等】

（参考書）

古賀勝朗・高橋明 『ヒンディー語 = 日本語辞典』（大修館書店、2006年）ISBN:978-4-469-01275-0
（履修前に辞書を購入する必要はない。）

McGregor, R. S. 『Outline of Hindi Grammar, Third Edition』（New York: Oxford University Press, 1995）
ISBN:978-0-19-870008-1

Snell, Rupert and Simon Weightman 『Teach Yourself, Complete Hindi』（London: Hodder Education,
1989）ISBN:978-1-444-10609-1

【授業外学修（予習・復習）等】

毎回課される宿題をきちんと行う。授業を受け、復習して宿題を行い、次回授業で答え合わせというサイクルで学習を進めること。ヒンディー語に限らず、インドの話題に関心を持ち、授業で共有してもらえると嬉しい。

（その他（オフィスアワー等））

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

ブルガリア語（初級）I（語学）(2)

数詞1、!も併用
第14回題目:6課
第15回題目:総復習
作成資料で復習をしていく

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

出席率、提出物、授業への取り組み(50%)、定期試験（50%）で総合評価する。

【教科書】

寺島 憲治 『ニューエクスプレスプラス ブルガリア語』（白水社, 2019年）ISBN:9784560088258
1- 2
, 2013 .) ISBN:9789545357374
教科書は『ニューエクスプレスプラス ブルガリア語』を購入すること。『
は購入は不要。必要に応じて、コピーを配布します。

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

テキストの予習と復習、課題

（その他（オフィスアワー等））

バルカン半島・南東ヨーロッパの中心に位置するブルガリアの言語や文化の習得は、この地域を知る鍵となる。新しい世界を体験しよう！
古教会スラヴ語コースと一緒に履修すると、より楽しく学習できる。
連絡先：ivo_padma@yahoo.co.jp

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

共通4

科目ナンバリング					
授業科目名 <英訳>	ブルガリア語（初級）Ⅱ（語学） Bulgarian	担当者所属・ 職名・氏名	ソフィア大学古典・現代文献学研究所 ブラジミロブ イヴォ 専任講師		
配当学年	全回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・後期
曜時限	水4	授業形態	語学（対面授業科目）	使用言語	日本語
題目	現代ブルガリア語				
【授業の概要・目的】					
前期に引き続き、ブルガリア語の文法、よく使われる語彙や表現を学ぶ。ブルガリア語は動詞の形がたくさんあるので、それをしっかり学んでいく。前期同様、講義の中で歴史、宗教、文化にも理解を深めていく。					
【到達目標】					
前期同様、基本的な文法や語彙、表現を身につけることを目標とする。					
【授業計画と内容】					
第1回題目:オリエンテーション					
第2回題目:7課 複数形（男性名詞2）、未来形、形容詞と名詞（複数形）の後置冠詞形、					
第3回題目:7課 7課の復習、数詞2、 !も併用					
第4回題目:講義 「ブルガリアを知る」					
第5回題目:8課 命令法、人数を表す数詞（男性）、疑問詞「 」どのような					
第6回題目:8課 8課の復習、 !も併用					
第7回題目:9課 比較級と最上級、疑問代名詞「 」誰、関係代名詞「 」、指示代名詞、「 ?」これは何ですか?					
第8回題目:9課 9課の復習、親族・民族名、国名、 !も併用					
第9回題目:講義 「ブルガリアを知る」					
第10回題目:10課 体調を表す表現、代名詞（短形）を含んだ文、人称代名詞（対格長形と与格長形）、「 」					
第11回題目:10課 10課の復習、 !も併用					
第12回 題目:11課 過去時制、所有代名詞長形とその後置冠詞形					
第13回題目:11課 11課の復習、 !も併用					
第14回題目:12課 完了過去、再帰代名詞					
ブルガリア語（初級）Ⅱ（語学）(2)へ続く					

ブルガリア語（初級）Ⅱ（語学）(2)

第15回題目:総復習
作成資料で復習をしていく

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

出席率、提出物、授業への取り組み(50%)、定期試験（50%）で総合評価する。

【教科書】

寺島 憲治 『ニューエクスプレスプラス ブルガリア語』（白水社, 2019年）ISBN:9784560088258

1- 2
, 2013 .) ISBN:9789545357374

教科書は『ニューエクスプレスプラス ブルガリア語』を購入すること。『
は購入は不要。必要に応じて、コピーを配布します。

【参考書等】

（参考書）

【授業外学修（予習・復習）等】

テキストの予習と復習、課題

（その他（オフィスアワー等））

バルカン半島・南東ヨーロッパの中心に位置するブルガリアの言語や文化の習得は、この地域を知る鍵となる。新しい世界を体験しよう！

古教会スラヴ語コースと一緒に履修すると、より楽しく学習できる。

連絡先：ivo_padma@yahoo.co.jp

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

共通5

科目ナンバリング					
授業科目名 <英訳>	古教会スラヴ語（初級）（語学） Old Church Slavic	担当者所属・ 職名・氏名	ソフィア大学古典・現代文献学研究科 ブラジミロブ イヴォ 専任講師		
配当学年	全回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・前期
曜時限	水5	授業形態	語学（対面授業科目）	使用言語	日本語
題目	古教会スラヴ語入門I				
【授業の概要・目的】					
<p>最古のスラブ文語である古代教会スラブ語は、ギリシア語、ラテン語と並び中世ヨーロッパにおける第3の古典語である。第一次ブルガリア帝国で用いられ公用語となったことにより、古代教会スラブ語はバルカン半島/南東ヨーロッパ地域のみにとどまらず、キエフ・ルーシにまで伝播する。ギリシア語の聖書や祈祷書、典礼書の翻訳はもちろんのこと、オリジナルな経典や文学作品も多く存在する。</p> <p>授業では、インド・ヨーロッパ語族の類似性とそのルーツ、また現代ブルガリア語との関連性を意識しながら、単語や文法の基本的理解を目指す。この言語を身に付けることで、スラブ圏やバルカン半島の言語を習得する際の重要な基礎知識となるだけでなく、正教圏スラブ世界（Slavia Orthodoxa）への重要な鍵にもなる。</p>					
【到達目標】					
<p>キリル文字の読み書きができるようになる。 古典言語の発音ができるようになる。 基礎的文法の概略と特徴を理解する。</p>					
【授業計画と内容】					
<p>第1 授業のオリエンテーション 第2 文字の発音と綴り 第3 文字の発音と綴りの練習 第4 代名詞 第5 代名詞 の練習 第6 代名詞 第7 代名詞 の練習 第8 動詞の語幹、不定詞とスピーナム 第9 動詞の語幹、不定詞とスピーナムの練習 第10 動詞の現在形 第11 動詞の現在形 の練習 第12 動詞の現在形 第13 動詞の現在形 の練習 第14 作文 第15 総復習</p>					
----- 古教会スラヴ語（初級）（語学）(2)へ続く -----					

古教会スラヴ語（初級）（語学）(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

出席率、提出物、授業への取り組み(50%)、定期試験（50%）で総合評価する。

[教科書]

木村 彰一 『古代教会スラヴ語入門』（白水社,2022）ISBN:9784560006252

『

』（

,2017）ISBN:9789540742106

教科書はコピーを配布するので、購入は不要です。

[参考書等]

（参考書）

『

10

』（

,1987）

[授業外学修（予習・復習）等]

教科書や配布プリントで学習した箇所の復習をすること。

（その他（オフィスアワー等））

ブルガリア語初級コースと一緒に履修すると、より楽しく学習できる。

連絡先：ivo_padma@yahoo.co.jp

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

共通6

科目ナンバリング					
授業科目名 <英訳>	古教会スラヴ語（中級）（語学） Old Church Slavic	担当者所属・ 職名・氏名	ソフィア大学古典・現代文献学研究科 ブラジミロブ イヴォ 専任講師		
配当学年	全回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・後期
曜時限	水5	授業形態	語学（対面授業科目）	使用言語	日本語
題目	古教会スラヴ語入門II				
【授業の概要・目的】					
<p>最古のスラブ文語である古代教会スラブ語は、ギリシア語、ラテン語と並び中世ヨーロッパにおける第3の古典語である。第一次ブルガリア帝国で用いられ公用語となったことにより、古代教会スラブ語はバルカン半島/南東ヨーロッパ地域のみにとどまらず、キエフ・ルーシにまで伝播する。ギリシア語の聖書や祈祷書、典礼書の翻訳はもちろんのこと、オリジナルな経典や文学作品も多く存在する。</p> <p>授業では、インド・ヨーロッパ語族の類似性とそのルーツ、また現代ブルガリア語との関連性を意識しながら、単語や文法の基本的理解を目指す。この言語を身に付けることで、スラブ圏やバルカン半島の言語を習得する際の重要な基礎知識となるだけでなく、正教圏スラブ世界（Slavia Orthodoxa）への重要な鍵にもなる。</p>					
【到達目標】					
<p>基礎的文法の概略と特徴を理解する。 学習した文法を用いて、写本を読めるようになる。</p>					
【授業計画と内容】					
<p>第1 授業のオリエンテーション、アオリスト 第2 アオリスト の練習 第3 アオリスト 第4 アオリスト の練習 第5 インパーフェクト 第6 インパーフェクトの練習 第7 名詞 第8 名詞 の練習 第9 名詞 第10 名詞 の練習 第11 形容詞 第12 形容詞 の練習 第13 形容詞 第14 形容詞 の練習 第15 総復習</p>					
【履修要件】					
特になし					
----- 古教会スラヴ語（中級）（語学）(2)へ続く -----					

古教会スラヴ語（中級）（語学）(2)

[成績評価の方法・観点]

出席率、提出物、授業への取り組み(50%)、定期試験（50%）で総合評価する。

[教科書]

木村 彰一 『古代教会スラヴ語入門』（白水社,2022）ISBN:9784560006252

『
』（
，2017）ISBN:9789540742106

教科書はコピーを配布するので、購入は不要です。

[参考書等]

（参考書）

『
』（
10
，1987）

[授業外学修（予習・復習）等]

教科書や配布プリントで学習した箇所の復習をすること。

（その他（オフィスアワー等））

ブルガリア語初級コースと一緒に履修すると、より楽しく学習できる。

連絡先：ivo_padma@yahoo.co.jp

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

共通7

科目ナンバリング		G-LET49 89639 LJ48			
授業科目名 <英訳>	ヘブライ語（初級）（語学） Hebrew		担当者所属・ 職名・氏名	大東文化大学 武藤 慎一	
配当学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・開講期	2024・前期
曜時限	金3	授業形態	語学（対面授業科目）	使用言語	日本語
題目	ヘブライ語文法（初級）				
[授業の概要・目的]					
<p>聖書ヘブライ語の文字、母音表記などの特徴を概観するとともに、文法の基礎（名詞、人称代名詞、形容詞、前置詞ほか）を扱う。ヘブライ語文の特徴的構造に親しみ、さらに個々の文法事項がもつ聖書解釈上の意義についても解説する。その際、文法書の変化表を無理やり暗記するのではなく、実際に聖書テキスト（創世記）を読みながら、できる限り帰納的に共通する法則を発見していく方法をとる。</p>					
[到達目標]					
<ul style="list-style-type: none"> ・ヘブライ語の文字と母音表記を認識して、文章を声に出して読める。 ・名詞類の特徴を指摘できる。 ・簡単な名詞文の和訳ができる。 					
[授業計画と内容]					
<p>基本的に以下のプランに従って授業を進める。ただし、言語習得は螺旋状に進行していくものなので、各テーマとも1回の授業で完結するのではなく、同じようなテーマに何度も立ち戻りながら、少しずつ最終目標に近づいていく。</p> <p>第1回 導入：本授業の方法 第2回 ヘブライ語の特徴とその背景：宗教、歴史、文化 第3回 発音 第4回 文字（子音） 第5回 母音表記と音節 第6回 固有名詞 第7回 普通名詞 第8回 名詞のつながり 第9回 前置詞 第10回 代名詞と接尾辞 第11回 形容詞 第12回 副詞 第13回 語順 第14回 動詞 第15回 動詞のアスペクト</p>					
-----ヘブライ語（初級）（語学）(2)へ続く-----					

ヘブライ語（初級）(語学)(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点評価・・・授業への参加状況（100%）

[教科書]

プリントを配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業で配布するプリントを読んでくること。

（その他（オフィスアワー等））

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

共通8

科目ナンバリング		G-LET49 89640 LJ48			
授業科目名 <英訳>	ヘブライ語（中級）(語学) Hebrew		担当者所属・ 職名・氏名	大東文化大学 武藤 慎一	
配当学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・開講期	2024・後期
曜時限	金3	授業形態	語学（対面授業科目）	使用言語	日本語
題目	ヘブライ語文法（中級）				
[授業の概要・目的]					
<p>初級に引き続いて、動詞（完了形・未完了形・命令形、時制など）のシステムとその文章構造の理解を中心に、聖書ヘブライ語文法の基礎を扱う。聖書テキストを声に出して読み、テキスト翻訳の中で注意すべき文法的な事項の認識を深める。その際、文法書の変化表を無理やり暗記するのではなく、実際に聖書テキスト（創世記）を読みながら、できる限り帰納的に共通する法則を発見していく方法をとる。</p>					
[到達目標]					
<ul style="list-style-type: none"> ・動詞の完了・未完了の基本活用を認識できる。 ・完了・未完了を含むヘブライ語の文構造を理解し、翻訳できる。 ・聖書ヘブライ語の特殊な時制構造を理解している。 ・辞書を使える。 					
[授業計画と内容]					
<p>基本的に以下のプランに従って授業を進める。ただし、言語習得は螺旋状に進行していくものなので、各テーマとも1回の授業で完結するのではなく、同じようなテーマに何度も立ち戻りながら、少しずつ最終目標に近づいていく。</p> <p>第1回 導入：ヘブライ語文法の初級から中級へ 第2回 動詞のパターン 第3回 動詞の人称変化（完了形） 第4回 動詞の人称変化（未完了形） 第5回 動詞の数と性 第6回 動詞の命令形と不定詞形 第7回 動詞の分詞形 第8回 動詞のカル 第9回 動詞のニフアル 第10回 動詞のピエル 第11回 動詞のヒフイル 第12回 動詞のヒトパエル 第13回 名詞文と動詞文 第14回 文のつながり 第15回 北西セム語の中のヘブライ語</p>					
-----ヘブライ語（中級）(語学)(2)へ続く-----					

ヘブライ語（中級）(語学)(2)

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

平常点評価・・・授業への参加状況（100%）

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

授業で配布するプリントを読んでくること。

（その他（オフィスアワー等））

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

共通9

科目ナンバリング		G-LET49 89620 LJ48			
授業科目名 <英訳>	シュメール語（初級）（語学） Sumerian	担当者所属・ 職名・氏名	国士舘大学イラク古代文化研究所 森 若葉 特別研究員		
配当学年	1回生以上	単位数	4	開講年度・開講期	2024・通年
曜時限	金1	授業形態	語学（対面授業科目）	使用言語	日本語
題目	シュメール語文法と楔形文字書記体系のしくみ、楔形文字文献の講読および内容の紹介				
[授業の概要・目的]					
<p>古代メソポタミア文明で話されていたシュメール語は、紀元前四千年紀末からおよそ三千年間にわたって数多くの資料を残す楔形文字言語である。</p> <p>この言語は、複雑な動詞組織をもち、系統関係が不明な膠着語であることが知られている。本授業は、楔形文字で記されるシュメール語の文法と楔形文字文献について学ぶことを目的とする。</p> <p>文法の解説とともに、最古の文字である楔形文字の成立としくみ、および系統不明の古代語であるシュメール語ほか楔形文字言語の講読についてもふれる。</p> <p>比較的簡単なシュメール語資料の講読を行い、適宜、そのほかの資料についても内容の紹介をおこなう。死語となつてのちに長期間にわたって書き継がれた言語の文法の問題点などもあわせて論じる。授業で扱うシュメール語資料は、王碑文、行政経済文書、裁判文書、文学作品、文法テキストを予定しているが、受講学生と相談し変更することもある。</p>					
[到達目標]					
<p>世界最古の文字で、その後三千年間古代メソポタミア世界の様々な言語を書き記した楔形文字の書記体系、およびシュメール語の基本的文法構造を理解する。</p> <p>また、楔形文字で記されたシュメール語のさまざまな文献を実際に講読し、その内容を知ることにより、シュメール語文法と楔形文字についての知識を深める。</p>					
[授業計画と内容]					
<p>基本的に以下のプランに従って講義を進める。ただし講義の進みぐあいや受講学生の希望に応じ、順序やテーマは変更されうる。</p> <p><前期> 楔形文字およびシュメール語文法の概説とともに、簡単な資料の講読を行う。粘土板および円筒印章を作成する実習を行う。</p> <p>第1回 シュメール語の背景 メソポタミア文明の世界について</p> <p>第2回 シュメール語と楔形文字について</p> <p>第3回 楔形文字の講読と楔形文字で書かれた諸言語について（第3回）</p> <p>第4回 楔形文字の成立としくみについて（第4-5回）</p> <p>第5回 シュメール語文法（1）、楔形文字文献について</p> <p>第6回 シュメール語文法（2）、王碑文を読む</p> <p>第7回 シュメール語文法（3）、王碑文を読む</p> <p>第8回 シュメール語文法（4）、行政文書を読む</p> <p>第9回 楔形文字粘土板実習 - 粘土板を作成</p> <p>第10回 シュメール語文法（5）、行政文書を読む</p> <p>第11回 シュメール文学について</p> <p>第12回 シュメール文学作品を読む（1）</p> <p>第13回 シュメール・メソポタミアの「法典」紹介</p> <p>第14回 裁判文書、行政文書を読む</p> <p>第15回 シュメール文学作品を読む（2）</p>					
シュメール語（初級）（語学）(2)へ続く					

シュメール語（初級）(語学)(2)

<後期>

文法概説と並行して下記文献の講読、資料の紹介を進めていく。総合博物館の許可のもと、博物館が所蔵する楔形文字粘土板の見学実習を行う予定である。

- 第1回 文献から見るシュメールの生活
- 第2回 シュメール語文法（6）、行政文書を読む
- 第3回 シュメール語文法（7）、行政文書を読む
- 第4回 シュメール語文法（8）、行政文書を読む
- 第5回 シュメール文学作品を読む（3）
- 第6回 シュメール語文法（9）、行政文書を読む
- 第7回 シュメール語文法・語彙文書概説、王碑文を読む
- 第8回 京都大学総合博物館所蔵資料紹介
- 第9回 京都大学総合博物館所蔵資料を読む
- 第10回 京都大学総合博物館粘土板見学実習
- 第11回 シュメール文学作品を読む（4）
- 第12回 シュメール文学作品を読む（5）
- 第13回 行政文書、王碑文を読む
- 第14回 行政文書、王碑文を読む
- 第15回 まとめ

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

平常点（講読の状況・授業中の発言）[20%]および学年末レポート（シュメール語文献の翻字・翻訳）[80%]を予定。

【教科書】

使用しない

授業時に資料およびテキストのコピーを配布する。
楔形文字粘土板実習の際、粘土等を各自用意してもらう必要がある。

【参考書等】

（参考書）

授業中に紹介する

授業時に資料およびテキストのコピーを配布する。

【授業外学修（予習・復習）等】

事前に授業中に配布する資料に目を通してもらうことがある。また、文献講読については、授業前にシュメール語テキストの文字や単語について調べてきてもらうことがある。

シュメール語（初級）(語学)(3)へ続く

シュメール語（初級）(語学)(3)

（その他（オフィスアワー等））

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

共通10

科目ナンバリング					
授業科目名 <英訳>	アラブ語（初級）I（語学） Arabic	担当者所属・ 職名・氏名	非常勤講師 仲尾 周一郎		
配当学年	全回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・前期
曜時限	月2	授業形態	語学（対面授業科目）	使用言語	日本語
題目	文語アラビア語初級				
【授業の概要・目的】					
<p>アラビア語は文字言語としての長い歴史をもつ文語アラビア語諸変種と、民衆的な日常語としての口語アラビア語諸方言に大別される。この授業では文語アラビア語の語学的基礎を身につけつつ、簡潔な文体で書かれた古典から現代の文献の講読を行う。また、単に語学的能力だけでなく、言語そのものを分析するための諸概念についても紹介する。なお、時間的制約のため、書くこと、話すこと、聞くことは本授業では主たる目標としては扱わないが、学生の関心や自主性に応じて授業に取り込む予定である。</p>					
【到達目標】					
<p>文語アラビア語に関する基本的な社会言語学的・言語学的事実を理解した上で、辞書を用いて自力で文献を読解し、音読することができるようになる。</p>					
【授業計画と内容】					
<p>本授業では初期の数回を除き、文字・文法学習 50%、文献の講読 50% を目途に進める予定である。講読文献の進度によって毎回解説する文法事項の順序は予想できないためここでは正確には記載しないが、前半期は屈折形態論、後半期は派生形態論を主たる学習目標とする。</p> <p>第1回 イン트로ダクション・音韻論 第2回 形態論の概観・文字（1） 第3回 統語論の概観・文字（2） 第4～8回 現代文の講読 第9回 中間試験 第10回～14回 古典文の講読 第15回 試験</p>					
【履修要件】					
特になし					
【成績評価の方法・観点】					
参加度 50 点（予習し当てられれば適切に答える）、試験 50 点。					
----- アラブ語（初級）I（語学）(2)へ続く -----					

アラブ語（初級）I(語学)(2)

[教科書]

未定
特定の教材を使用する可能性はあるが、その場合でも購入の必要がないものを選択する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する
無料で学習できる手近なツールとしては以下の2点をとりあえずお勧めする。

アラビア語初級eラーニング（大阪大学）
<http://el.minoh.osaka-u.ac.jp/wl/ar/index.html>

東外大言語モジュール・アラビア語
<https://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/ar/>

[授業外学修（予習・復習）等]

最初の数回の目標としては、アラビア文字の活字をみて読めるよう準備すること。講読を行うフェーズでは、できる限り事前に自分なりの訳文を用意してくること。また、復習として毎回学んだ文章を音読すること。

（その他（オフィスアワー等））

メールにて連絡のこと。授業後すぐの時間帯は遠慮なくどうぞ。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

共通11

科目ナンバリング					
授業科目名 <英訳>	アラブ語（初級）II（語学） Arabic		担当者所属・ 職名・氏名	非常勤講師 仲尾 周一郎	
配当学年	全回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・後期
曜時限	月2	授業形態	語学（対面授業科目）	使用言語	日本語
題目	文語アラビア語初中級				
【授業の概要・目的】					
<p>アラビア語は文字言語としての長い歴史をもつ文語アラビア語諸変種と、民衆的な日常語としての口語アラビア語諸方言に大別される。この授業では主として文語アラビア語の語学的基礎を身につけつつ、簡潔な文体で書かれた古典から現代の文献の講読を行うとともに、それ以外のアラビア語変種についても紹介する。また、単に語学的能力だけでなく、言語そのものを分析するための諸概念についても紹介する。なお、時間的制約のため、書くこと、話すこと、聞くことは本授業では主たる目標としては扱わないが、学生の関心や自主性に依じて授業に取り込む予定である。</p>					
【到達目標】					
<p>文語アラビア語に関する基本的な社会言語学的・言語学的事実を理解した上で、辞書を用いて自力で文献を読解し、音読することができるようになる。</p>					
【授業計画と内容】					
<p>本授業では初期の数回を除き、文字・文法学習 50%、文献の講読 50% を目途に進める予定である。講読文献の進捗によって毎回解説する文法事項の順序は予想できないためここでは記載しないが、前半期は情報構造と文構造、後半期は複雑文の構造を主に扱う。</p> <p>第1回 イン트로ダクション・古代北アラビア語の紹介 第2～6回 現代文の講読 第7回 中間試験 第8～9回 口語諸変種の紹介 第10～14回 古典文の講読 第15回 試験</p>					
【履修要件】					
<p>アラビア語の基礎知識（文字、キーボード、および文法概要）を身に付けており、（オンライン）辞書を使うことができること。</p>					
【成績評価の方法・観点】					
<p>参加度 50 点（予習し当てられれば適切に答える）、試験 50 点。</p>					
----- アラブ語（初級）II（語学）(2)へ続く -----					

アラブ語（初級）Ⅱ（語学）(2)

[教科書]

未定
特定の教材を使用する可能性はあるが、その場合でも購入の必要がないものを選択する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する
無料で学習できる手近なツールとしては以下の2点を取りあえずお勧めする。

アラビア語初級eラーニング（大阪大学）
<http://el.minoh.osaka-u.ac.jp/wl/ar/index.html>

東外大言語モジュール・アラビア語
<https://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/ar/>

[授業外学修（予習・復習）等]

できる限り事前に自分なりの訳文を用意してくること。また、復習として毎回学んだ文章を音読すること。ただし、古代北アラビア語や現代口語諸方言に関する紹介を行う回はこうした復習は必要ない。

（その他（オフィスアワー等））

メールにて連絡のこと。授業後すぐの時間帯は遠慮なくどうぞ。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

共通12

科目ナンバリング		U-LET49 28041 SJ36			
授業科目名 <英訳>	英語論文作成法(演習) Introduction to Academic Writing	担当者所属・ 職名・氏名	非常勤講師 大崎 紀子		
配当学年	2-4回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・前期
曜時限	火4	授業形態	演習(対面授業科目)	使用言語	日本語
題目	アカデミック・ライティング(1)				
[授業の概要・目的]					
<p>学術論文やエッセイ(小論文)などの論理的な文章を英語で書く能力を養成する。前期では、パラグラフの構造を学び、英文を読むことを通じて論理的な文章構成への理解を深め、自らの視点を反映した論理的な文章を英語で書く活動を行うとともに、引用の方法についても基本的な知識と技術を学ぶ。</p>					
[到達目標]					
英語と日本語の修辞法の違いを理解し、論理的で説得力のある文章を英語で書けるようになる。					
[授業計画と内容]					
<p>1 Guidance この授業の進め方 2 Introduction 書き言葉の語彙 3-4 学術英語の基礎知識 5 パラグラフの構造の理解、冠詞 6-8 パラグラフの統一性と一貫性 9-10 課題作文の添削と解説 11-12 引用の方法、文献目録の書き方(基本篇) 13-14 課題作文の添削と解説 15 まとめ フィードバック方法は授業中に説明します。</p>					
[履修要件]					
受講者20人まで					
[成績評価の方法・観点]					
授業参加(クイズ、宿題提出を含む。30点)、作文課題(2-3回、計70点)					
[教科書]					
プリント教材を配布します。					
[参考書等]					
(参考書)					
Alice Oshima and Ann Hogue. 『Longman Academic Writing Series 4: Paragraph to Essays, Fifth Edition』 (Pearson Longman, 2017)					
Swales, John M. and Feak, Christine B. 『Academic Writing for Graduate Students: Essential tasks and skills,					
----- 英語論文作成法(演習)(2)へ続く -----					

英語論文作成法(演習)(2)

third edition』 (The University of Michigan Press, 2012)

[授業外学修 (予習・復習) 等]

教材は、事前に配布しますので、予習をして授業に臨んでください。

(その他 (オフィスアワー等))

質問があればメールで随時尋ねてください。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。

共通13

科目ナンバリング	U-LET49 28041 SJ36				
授業科目名 <英訳>	英語論文作成法(演習) Introduction to Academic Writing	担当者所属・ 職名・氏名	非常勤講師 大崎 紀子		
配当学年	2-4回生	単位数	2	開講年度・開講期	2024・後期
曜時限	火4	授業形態	演習(対面授業科目)	使用言語	日本語
題目	アカデミック・ライティング(2)				
[授業の概要・目的]					
英文アブストラクト、要約、引用、文献目録の書き方など、英語論文を書くための基本的な方法論を学び、英語で学術論文を書く能力を養う。					
[到達目標]					
英語と日本語の修辞法の違いを理解するとともに、剽窃を疑われない適切な引用の方法を身に付け、その技術を自信をもって使いこなせるようになる。					
[授業計画と内容]					
1 Introduction 2 Paraphrasing(書き換え)の基礎と演習 3 引用と時制、類義語 4 書き換え練習の添削と解説 5 履歴書、自己推薦書の書き方と演習 6-7 パラグラフから小論文へ 8-9 課題作文(CV)の添削と解説 10 比較・対照論文の書き方 11 分詞構文の使い方 12-14 小論文作成演習(作文の添削と解説) 15 まとめ フィードバックの方法は授業中に説明する。					
[履修要件]					
前期を受講していることが望ましい。(受講者20人まで)					
[成績評価の方法・観点]					
授業参加(クイズ、宿題提出を含む。30点)、課題作文(3回、計70点)					
[教科書]					
プリント教材を配布する。					
[参考書等]					
(参考書) Alice Oshima and Ann Hogue. 『Longman Academic Writing Series 4: Paragraph to Essays, Fifth Edition』 (Pearson Longman, 2017)					
----- 英語論文作成法(演習)(2)へ続く -----					

英語論文作成法(演習)(2)

Swales, John M. and Feak, Christine B. 『Academic Writing for Graduate Students: Essential tasks and skills, third edition』 (The University of Michigan Press, 2012)

【授業外学修（予習・復習）等】

教材プリントは、事前に配布しますので、予習をして授業に臨んでください。

（その他（オフィスアワー等））

質問はメールで随時お尋ねください。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。